

第 31 回国際交流の集い

2025年2月2日（日）

今年は日本語スピーチコンテストに中国の学習者1名が参加し、日本のコンビニについて話してくれました。日本のコンビニは24時間営業で、商品の販売だけでなくチケット購入や宅配便などのサービスもあってとても便利であること、英語や中国語の案内があり国際化が進んでいることなどを話してくれました。また、店員には「おもてなし」の心もあり、コンビニは災害時には物資供給の場になるなど、日本のコンビニ文化をととても尊敬されているそうです。コンビニをそのように感じておられるのを知って、とても嬉しく思いました。



外国文化紹介は、今年は舞台発表となり、タイの学習者がタイの様々な伝統的な行事や習慣について紹介してくれました。

前半は、タイの新年を祝う伝統的な水かけ祭り「ソンクラーン」や僧侶の托鉢「タンブンサイバート」の様子、生徒が教師に感謝・尊敬の気持ちを示す教師の日「ワン・ワイ・クルー」などの行事について、スライドを使って説明がありました。また、「プアンマーライ」と呼ばれる花輪についても色々教えてくれました。花輪は、冠婚葬祭などの行事だけでなく、尊敬や感謝の気持ちを込めて目上の人に渡したり、お寺や仏像にお供えしたり、車につけて安全のお守りにしたり、とタイの人々の生活には欠かせないものだそうです。様々な花が咲き誇るタイの人々の花を大切にしている気持ちもよく伝わり、南国ならではの素敵な習慣だと思いました。



托鉢の様子

後半は、学習者を中心としたタイの方6名と支援者14名が加わり、僧侶の托鉢の様子や、教師の日に生徒がどのように先生に感謝の意を示すのか、また友達や教師、両親への挨拶のしかたの違いを実際に演じてくれました。

タイは「微笑みの国」と言われますが、そのイメージの通り、僧侶や目上の人を尊敬し大事に思う気持

ち、穏やかな人々の国民性がよく伝わってきました。また、解説を交えながらのパフォーマンスでしたので大変分かりやすく、皆さんがタイの衣装をまとい着飾っていて、準備も大変だったのではないかと思います。合計 30 分近くの発表を学習者が全て日本語で説明していて、私たち支援者としてもとても誇らしく思いました。

タイの学習者の皆さんやご協力いただいた方々に、改めて深く感謝の意を表したいと思います。



＜教師の日＞先生に尊敬の意を表し、花を渡す。



両親への挨拶



友達同士の挨拶



僧侶や教師など目上の人には、ワイ（合掌）の手を顔に近づけて挨拶をする。



総勢 21 人によるパフォーマンスでした！